

4200人が東京・日比谷野外音楽堂で「共謀罪は絶対反対」「安倍改憲阻止めよう」と声をあげた16日夜の大集会（主催＝「総がかり行動実行委員会」、「共謀罪NO！実行委員会」）。4野党・1会派の代表と、学者、弁護士、宗教者など市民の代表がスピーチし、「共謀罪を廃案にして、安倍政権を打倒しよう」と訴えました。

4野党・1会派の代表と、学者、弁護士、宗教者など市民の代表がスピーチし、「共謀罪を廃案にして、安倍政権を打倒しよう」と訴えました。

5/18 五社

## 「共謀罪廃案 日比谷大集会」

### 野党・会派代表と市民のスピーチ

#### 圧倒的世論で国会包囲を各党

日本共産党の山下芳生副委員長（参院議員）は「安倍首相は、秘密保護法、安保法制に続き、共謀罪をつくり、憲法の条を2020年までに変えると言った。首相の言う『美しい国が真実を隠し、国民を監視し、海外で無制限に戦争する国』というところが、いよいよはっきりした」と批判。戦前の治安維持法や物言えぬ社会がつくられ、侵略戦争に突き進んでいった痛苦の歴史があったからこそ、日本国憲法には内心の自由、「思想及び良心の自由」を侵してはならないとの条文が明記された」と指摘した。

その上で、政府が共謀罪の成立要件の一つにあける「実行準備行為をめぐって」「メールと発信を持って」「花見」「地図と双眼鏡を持って」しているのが「犯行の下見」と金田勝年法相が滑稽な答弁をし、審議で国民監視と内心の自由を「政府に声を上げることさえ抑制される」と告発。「市民、国民のネットワークをさらに大きく広げたい。たたき、ともにたたきたい。なにかとして、なにかおかしな法を阻止しよう」と訴え、自由党の山本太郎共同代表

（参院議員）は「たくさん人が共謀罪の流れはヤバイと知ることが、その先の政権交代につながる。そう信じて運動をともにやろう」と呼びかけた。

社民党の吉川元政（衆院議員）は、野党の支援団体が入る事務所の敷地内に大分原警が隠しカメラを設置した事件に言及、「共謀罪が成立すれば、ますます拍車がかかり、すべての市民が監視の対象となる」と警告し、「共謀罪 法案廃案と安倍政権打倒で、二力の限りをたかつかせ」と表明した。

参院会派「沖縄の風」の糸数慶子代表は、原野副総動や沖縄米軍新基地建設に反対する市民運動を弾圧するのが共謀罪の狙いだとして、住民無視の新基地建設阻止のために、「共謀罪 法案廃案」とも「安倍政権の打倒しかない」と訴えた。



#### 決意のコール

「共謀罪は絶対廃案とコールする。16日大集会の参加者」  
16日東京日比谷野外音楽堂

#### 立憲野党を後押ししよう

##### 市民

安部法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連）の中野寛一さん（上智大学教授）は「共謀罪」法案をめぐる国会審議の状況を「野党議員が論破して（法相を）ノックアウトしても、レフェリーがカウントを取らない」と指摘。改憲発言に関わって「立憲主義、民主主義は押しつけられたものではない。約100年前の憲政擁護運動などで、私たちの先祖が勝ち取ってきたものだ」と強調。「子や孫たちに立憲主義、民主主義を渡していくために、立憲野党を後押しして安倍政権を倒そう」と呼びかけた。

「共謀罪NO！実行委員会」を代表して、16日の衆院法務委員会を参考人としても発言した、弁護士の海渡雄一さんが訴えました。「日本の議会はおかしな感じだ。不敬罪、治安維持法違反で投獄され獄中で病死したの。公明党よ血迷うな」と。評論家の佐高信さんは、「森友学園」問題から語りはじめ、安倍政権を「安倍たちのやっていることは『愛国汚職』『愛国利権』だと痛烈に批判。『共謀罪』法案にふれ、『安倍首相は、一般の人には適用されない』と言った、秘密が5人もついている首相夫人が『私人』か『公人』かの違いも分からない安倍首相を、一般人とどう違う人教など各会派が立ちあがって、安倍首相の選挙は許さない」と語りました。